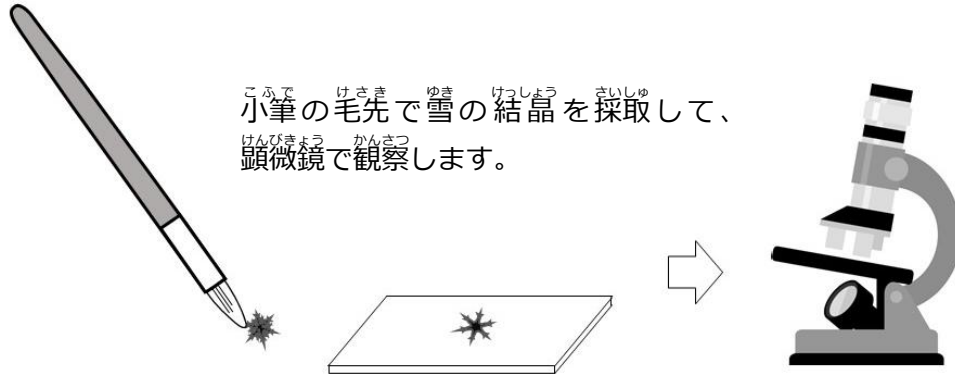


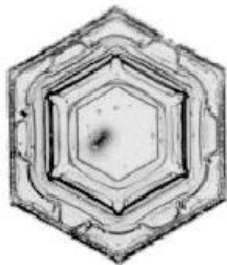
雪の結晶を観察しよう

北海道釧路明輝高等学校 科学部

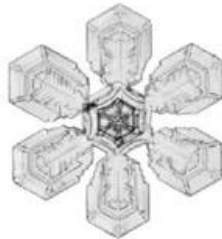
- 雪の結晶の観察は、冬の野外で、雪が降っているときにおこないます。僅かな熱ですぐに解けてしまうので、気温が -3°C 以下（できれば -5°C 以下）のときに観察しなければいけません。



- 雪の結晶の姿が見えたら、名前を調べましょう。今回は、雪の結晶の形を保存した標本（光硬化性樹脂による雪結晶レプリカ）を、顕微鏡で観察してみましょう。



かくばん
角板 (Plate)



おうぎろっか
扇六花 (Sector)



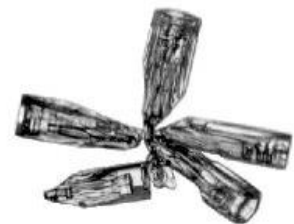
かくばんつづみ
角板鼓 (Column with plate)



おうぎつきかくばん
扇付角板 (Plate with sectors)



しだろっか
羊歯六花 (Fern)



かくちゅう ほうだんしゅうごうとう へいごう
角柱・砲弾集合等の併合
(Aggregation of combination of column and bullets)

*雪の結晶の名前は、グローバル分類（菊池・亀田他，2011）による分類名を記載

*雪の結晶の画像は雪の結晶観察ノート（<http://www1.odn.ne.jp/snow-crystals/>）から転載